

## 平成 20 年度第 6 回議事録

日 時 平成 21 年 3 月 4 日 (水) 14:00～17:30

会 場 地盤工学会 3 階会議室

|        |       |   |        |       |   |        |           |   |
|--------|-------|---|--------|-------|---|--------|-----------|---|
| 委員長    | 末政 直晃 | ○ | 委員     | 浅田 英幸 | ○ | 委員     | 森川 嘉之     | ○ |
| 委員     | 石川 明  | × | 委員     | 森田 宏  | × | 委員     | スレン ソッキアン | × |
| 委員     | 國分 章子 | ○ | 委員     | 笹倉 剛  | ○ | オブザーバー | 片桐 雅明     | × |
| オブザーバー | 伊藤 政人 | × | オブザーバー | 竹内 秀克 | × | 事業部長   | 古屋 弘      | ○ |
| 事務局    | 浅野    | ○ | 事務局    | 永田    | ○ |        |           |   |

○：出席，×：欠席，△未定

◎本日の議事録作成担当者 ( 浅田 委員 )

議事録 (スレン⇒浅田⇒石川⇒國分⇒森川⇒スレン⇒笹倉)

### 1. 報告事項

#### 1-1. 前回委員会 (1/7 開催) 議事録確認 (作成者：笹倉委員) 別紙 1

→1-1 宿題となっている委員会規程については、次回委員会までに末政委員長で文案を作成し、審議する。

→2-3 次年度以降の G-CPD システム保守は現行通り、メティオ (株) に依頼することになった。4 月に契約更新予定。

→2-4 4 月から建設系 CPD 協議会の副会長に末岡理事が就任。会員・支部部メンバーが協議会にオブザーバー参加するが、しばらくは片桐氏にサポートをお願いする。

→ その他の事項については承認された。

#### 1-2. 前回会員・支部部会報告 (1/14 開催) 別紙 2

→4-2) 末政委員長が新しい JGS カードデザインについて説明を行った。その後の正副会長会議・理事会の審議を経て、國分案が承認された。

#### 1-3. 前回広報委員会報告 (2/20 開催) 別紙 3

→ 永田事務局員より報告があった。

- ・ 60 周年記念 DVD の価格に対するアンケートでは 10 万円以下を希望する意見が殆どであった。記念 DVD 発売に併せ、電子図書室を 4～9 月ま

で閉鎖しリニューアル。リニューアルオープン後は、年間利用料 2,000 円の有料化を行う（ただしアクセス 10 回までは無料）。

- ・ 3/10 文京区メセナ講演会で 60 名を超える参加者を予想。講演者は東工大 大町教授で「首都圏直下型地震」がテーマ。CPD ポイントの対象プログラムとなる。
- ・ 学会内無線 LAN のセキュリティ強化の設備投資は当面見送り、有線 LAN の増設で対応する。

#### 1-4. 外部団体会議報告

##### ☆日本工学会 PDE 協議会

- ・ 2/6 開催 第 12 回 CPD WG 委員会 別紙 4

→ 伊藤オブザーバー欠席のため、3/27 開催予定の CPD 協議会、現在作成中の CPD ガイドラインについて次回委員会で改めて報告をお願いします。

##### ☆建設系 CPD 協議会

- ・ 平成 20 年度建設系 CPD 協議会「費用負担」について 別紙 5

→ 永田事務局員より、20 年度の運営費用には事務局費用を含めるため、初期還元金を差し引いても各学協会の負担金は昨年度より増加する見込みとの報告があった。

## 2. 審議事項

### 2-1. JGS カード色校正について 回覧資料

→ 日鋼情報システムに外注している JGS カードの最終校正を行った。

- ・ 背景色の青味を増す（色見本 No.256 を採用）。世界地図の陸地のまだらを修正し、一色に統一。
- ・ 裏面矢印と INSERT の記述を残し、文字サイズを下げる。日本語表記はくどいので削除する。
- ・ 3 月末に納品され、カードプリンターで名前等可変データを白で印刷する。

### 2-2. 緑化工学会のプログラムの扱いについて 別紙 6

→ 両学会間で締結した継続教育システムに係わる契約書、覚書を再確認した。

- ・ 連携の内容はシステム相互利用までで相互認証ではない。
- ・ 結果として、G-CPD の信頼性をおとしめるような相互認証は避けるべきである。
- ・ 緑化工学会は、建設系 CPD 協議会に参加する意向を持っているため、

そうであれば地盤工学会との相互認証の問題はクリアされる。

- ・ 土木学会と地盤工学会との間では、別途 1:1 で CPD ポイントを相互認証する旨の覚書を取り交わしているが、緑化学会への影響も含め覚書をあたる。
- ・ 以上を踏まえ、末政委員長にて緑化工学会への回答書を作成する。回答書には次の2つの選択肢を盛り込む。①建設系 CPD 協議会に入会の上、独自の CPD 制度を構築してもらう or ②協議会に参加しないのであれば、特別会員と同様にプログラム毎に認定申請してもらう。

### 2-3. プログラム認定について 別紙 7

→ (株) フォーラムエイト：土留め工設計講習会

- ・ 本プログラムについては申請通り、認定
- ・ 同社から以前申請の合った FEM 講習会では「商業宣伝に偏っていないか」という点で疑問が残る資料が使われていた。今後の対応は以下の通りとする。
  - ①商用ベースの社外向け講習会は講習資料の事前提出を義務づける。
  - ②認定審査の中で商・宣偏重のグレーゾーンが認められる場合には、審査員の判断で CPD を割りがける。
  - ③その場合は認定書にその旨を一文添える。ひな形は末政委員長が作成する。

→ (独) 港湾空港技術研究所：DM-09 Symposium

- ・ 受講者ポイントは1日毎に付ける。1日目⇒7.5pt, 2日目⇒3.0pt, 3日目⇒4.0pt
- ・ 講師（発表者）ポイントは申請通り、3.0pt or 5.0pt

### 2-4. 土木学会作製 J S T w e b ラーニングのポイントについて 別紙 8

→時代の要請や地域間格差解消の観点から、今後は JST の Web ラーニングを CPD 認定するものとする。

- ・ 終了通知書の提出をもって認定する。CPD ポイントは最短学習時間に対して付与する。
- ・ 地盤工学会、土木学会以外の学協会で作成・編集した Web ラーニングの認定申請がきた場合には委員会（メール）審議とする。
- ・ 相互認証の立場から、その他の建設系 CPD 協議会参加団体の作成資料をまとめて審査してみても良い。

## 2-5. 技術普及委員会からの検討事項 別紙 9

→古屋事業部長から、講習会コース制の運用ルール変更の説明と、それに伴う修了者特典のボーナスポイント見直しの提案があった。

- ・ 提案されたボーナスポイント付与計算が複雑なので、「2 コース目以降を続けて選択する場合は、コース認定の基準となる“12 講習以上+72pt”の半数にあたる、“6 講習以上+36pt”を新規に受講することを条件とする」に変更してもらう。
- ・ その場合のボーナスポイントは、そのまま 10pt とする。
- ・ コース制担当者が、事務局（永田）宛に修了者情報を提供する。情報提出時期は年末に 1 年間分をまとめて行い、その年度内にポイントを付与する。

→続いて同じく古屋事業部長から、講習会オンデマンド化に対する提案があった。講習会の内容をビデオ化し、①JGS ショッピングカートにて有料でストリーミング配信する（個人向け）、②DVD に焼き支部開催講習会用に貸出す、というもので、これを CPD の対象としてほしい。

- ・ ①はコンテンツ毎（約 1 時間、¥1,000）に、時間（hr）×1pt の CPD を付与。対象は購入者のみ。
- ・ ショッピングカートのコンテンツ毎に CPD ポイントを明記する。併せてシステム記録用にイベント番号を付与する。
- ・ イベント番号、購入者情報を記録したファイルを事務局（永田）宛に提供し、事務局でポイント付与する。
- ・ ②は従来通り、支部開催講習会としてポイント処理する。

## 2-6. プログラム認定申請共通用紙について 別紙 10

→永田事務局員から、開催日時、会場を代えて行われる同一のプログラムの申請様式（Excel 版）について提案があった。

- ・ テキスト送付のチェック欄を外し、欄外に「申請書と一緒にテキストの事前送付を義務づける」旨を明記する。
- ・ 修正した書式を事務局から送付、メール審議にて最終決定する。
- ・ なお、講師の CPD ポイントは開催回数に依らず同じとする（割り引かない）。

## 2-7. 次年度委員について 別紙 11

→21 年度委員会の体制について末政委員長より提案があり、現時点では以下

の入替えが内定。

- ・ 新委員長には笹倉委員が昇格
- ・ 末政委員長、森川委員、石川委員、浅田委員が退任。末政委員長は、引き続きオブザーバーとしての残留を検討する。
- ・ 新任は松岡達也氏（東亜建設工業）のみ確定。
- ・ 関連する広報委員会への参加は、システム WG を担当するスレン委員が浅田委員より引継ぐ。

次回委員会開催日　：平成 21 年 5 月 11 日　（月） 地盤工学会 3 階 中 会議室